

特集

呉羽丘陵の自然

はじめに

科学文化センターでは、市民の方々の生活する舞台となる市内の自然をしらべていますが、その一環として平成3年から5年にかけて、富山市街に最も近く、市民の憩いの場である呉羽丘陵(呉羽山・城山)の自然環境の調査を行いました。今回の調査では、いままでも調べられたことのある植物、昆虫、鳥やけものに加えて、呉羽丘陵では初めて貝類、土壌中の小さな動物、池や小川の動物、カエルやヘビ類、水質の調査も行ないました。

この調査から、私たちの身近かな自然ともいえる呉羽丘陵の自然がどのような特徴を持っているのが少しでもはっきりとすればよいと思います。

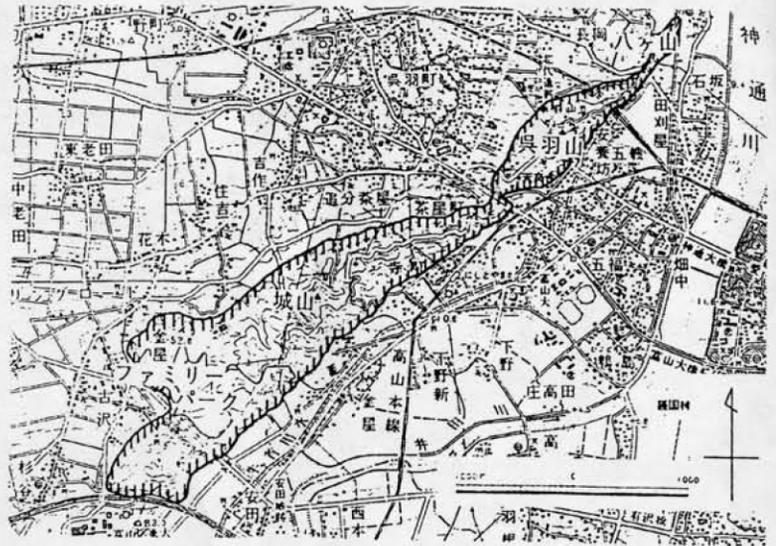
調査した場所

調査を行ったところは、富山市八カ山を北東の端、富山市杉谷の北陸自動車道を南西の端とした呉羽丘陵(呉羽山：標高76.8m；城山：標高145.3m)の稜線沿いと、その東西両斜面です。

呉羽丘陵の自然のあらまし

呉羽丘陵は、植物は約600種、昆虫類は約1000種が見つかったほか、初めて土壌動物の調査が行われました。また、西斜面と東斜面で、小川の水質が違うという面白い事実も見つかりました。

今号の「とやまと自然」は呉羽丘陵の自然特集ですが、呉羽丘陵の自然全ての紹介はとても出来ません。今回は、呉羽丘陵の植物、蝶類、両生類、ワラジムシ類、水質について紹介いたします。そのほかの生き物などについては、追々ご紹介したいと思います。



調査範囲

(国土地理院発行5万分の1地形図「富山」を使用した)

呉羽丘陵の植物

呉羽丘陵では、1972年と1980年に丘陵全域を対象とした植物の調査が行われ、それぞれに600種類程度の植物がリストアップされています。昨年、私たちが行った調査は3回目になり、616種類の植物の生育を確認しました。富山県内の他の丘陵地でも、普通600種類前後の植物が生育していますから、呉羽丘陵の植物の種類数は平均的といえます。

過去の記録と比較してみると20年前には、記録されていたものが、今は見つからなかったり、逆

に初めて見つかったものもあります。つまり、呉羽丘陵の環境は、変化しているということができるとのことです。

呉羽丘陵で特徴ある植物

呉羽丘陵にはミズナラやヤマドリゼンマイなど、標高の比較的高い山地に生える植物が生育しています。これらは、今よりも少し寒かった時代の名残かも知れません。